

Mizuho Daily Market Report

2023/2/8

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	132.16	131.07	▲1.59	+0.98
EUR	1.0725	1.0726	+0.0000	▲0.0137
AUD	0.6928	0.6959	+0.0076	▲0.0096
SGD	1.3269	1.3242	▲0.0036	+0.0103
CNY	6.7867	6.7846	▲0.0118	+0.0293
MYR	4.3047	4.3025	+0.0438	+0.0285
THB	33.66	33.61	▲0.07	+0.60
IDR	15144	15145	+90	+155
PHP	55.06	55.09	+0.69	+0.43
INR	82.74	82.70	▲0.04	+0.78

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.674%	+3.4 bp	+16.7 bp
日本(10年)	0.501%	▲0.4 bp	+0.5 bp
ユーロ圏(10年)	2.349%	+5.3 bp	+6.3 bp
オーストラリア(5年)	3.354%	+14.8 bp	+6.5 bp
シンガポール(5年)	2.858%	+1.9 bp	+0.7 bp
中国(5年)	2.682%	▲0.4 bp	▲1.3 bp
マレーシア(5年)	3.503%	+5.4 bp	▲8.4 bp
タイ(5年)	2.073%	+0.6 bp	▲1.6 bp
インドネシア(5年)	6.386%	+3.3 bp	+0.7 bp
フィリピン(5年)	5.943%	+13.7 bp	+13.3 bp

インド(5年) 7.167% ▲0.4 bp ▲4.5 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	34,156.69	+0.8%	+0.2%
N225(日本)	27,685.47	▲0.0%	+1.3%
STOXX50(ユーロ圏)	4,209.31	+0.1%	+1.1%
ASX(オーストラリア)	4,309.87	+0.1%	+1.3%
FTSTI(シンガポール)	3,380.84	▲0.2%	+0.5%
SSEC(中国)	3,248.09	+0.3%	▲0.2%
KLSE(マレーシア)	1,476.38	▲0.9%	▲0.6%
SETI(タイ)	1,680.49	▲0.1%	+0.5%
JKSE(インドネシア)	6,935.301	+0.9%	+1.4%
PSE(フィリピン)	6,881.26	▲0.8%	+1.3%
SENSEX(インド)	60,286.04	▲0.4%	+1.2%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	270.79	+1.7%	▲2.6%
金	1,873.10	+0.3%	▲2.9%
原油(WTI)	77.14	+4.1%	▲2.2%
銅	8,893.00	+0.6%	▲3.3%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	130.00	—	133.50
EUR/USD	1.0600	—	1.0790
AUD/USD	0.6800	—	0.7070
USD/SGD	1.3180	—	1.3350
USD/CNY	6.7600	—	6.9000
USD/MYR	4.2400	—	4.3250
USD/THB	33.28	—	33.90
USD/IDR	14950	—	15120
USD/PHP	54.00	—	54.90
USD/INR	82.40	—	83.30

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (2)	<	Bear (4)
USD/SGD	Bull (2)	<	Bear (4)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は132円台半ばでオープン。先週の米1月雇用統計発表後からのドル高も一服し、実需の売りに押され上値重く推移。ただ132円台前半の水準では下げ渋り同水準で動意薄く推移し海外時間へ。

アジア通貨はまちまち。オーストラリア中銀は事前予想通り25bpの利上げを実施し政策金利を3.35%とした。AUDは発表後0.69台前半から0.69台半ばまで上昇するもその後は上昇幅を縮小させ0.69台前半の水準まで値を戻した。

海外市場のドル円は欧州時間入り後、アジア時間の安値を割り込み131円台後半まで下落となったが、米州時間入り際にかけて一部買い戻され132円近辺で米州時間へ。米州時間朝方は米金利上昇に伴い欧州通貨や資源国通貨に対してはドル買いが進んだが、クロス円の売りが重しとなったドル円は上値重く推移。その後、ドル買いの流れが一巡するとドル円の下落が加速し、さらに米州時間午後には予定されているパウエルFRB議長の講演を控えた持ち高調整の売りもあいまって131円台前半まで下落し、週明けに向けた窓埋めを完了。パウエルFRB議長が講演で「デイスインフレのプロセスが開始された」と再度述べると、市場はドル売りで反応し、一時130円台半ばまで下押し。しかし、先週のFOMCと比べても目新しい発言内容は見当たらず、講演終了後は買い戻し優勢。終盤は131円台前半で小動きとなりクローズ。

【金利】

米債利回りは上昇。パウエルFRB議長の対談を待つ雰囲気の中で債券はじりじり売られて推移。対談内で、インフレ低下のプロセスが始まった、などといった主旨の発言が出るのと大きく金利が低下する場面も見られたが、強い経済指標に伴う利上げ継続も示唆するなどしたことから再びチョッピーに売られ行って来いの展開。午後の3年債入札が弱めの結果となり後半は再度売り優勢に。10年債は3.67%前後でのクローズ。

【予想】

本日のドル円は上値重い展開を予想。先週の米雇用統計後からのドル買いの流れも一服。パウエル議長の「デイスインフレ」言及もある中、積極的にドルを買う流れとはならないものとする。一方で、「追加利上げが必要」との見方も同時に示しており、積極的にドル円の下値を探る展開とはなり難いか。

【本日の予定】

(日本) 12月 国際収支:経常収支
(日本) 1月 景気ウォッチャー調査
(日本) 1月 東京オフィス空室率
(日本) 1月 銀行貸出動向
(アジア) 12月 フィリピン 失業率
(アジア) 12月 韓国 国際収支
(アジア) 1月 インドネシア 消費者信頼感指数
(アジア) インド 金融政策会合
(欧州) 12月 伊 小売売上高
(欧州) 1月 愛 CPI
(欧州) 4Q 仏 民間部門雇用者数(速)
(欧州) 独 国債入札(7Y)
(米国) 12月 卸売在庫(確)
(米国) MBA住宅ローン申請指数
(米国) ウィリアムズ・NY連銀総裁講演
(米国) 国債入札(10Y)

